公益社団法人 横浜歴史資産調査会 発行 日々の暮らしと横浜の歴史資産を一歩近づける





セミナーのご案内 ー 鉄桟橋竣工 120 周年記念事業 ダイサンバシ大学 ー

2014年で120周年を迎える大さん橋。昔も今も横浜の海の玄関口として、多くの人々の物語りに立ち会ってきました。そんな歴史の 舞台となってきた場所「大さん橋」で学ぶ 開港都市ヨコハマの歴史講座がスタートします。

【日時・講義内容】 ※時間はいずれも 19:00~21:00 を予定

第1回:2014年8月20日(水)「原三渓とヨコハマ」 西 和夫(神奈川大学名誉教授/公益社団法人横浜歴史資産調査会 相談役)

第2回:2014年8月27日(水)「ヨコハマ船物語」 今野洋一(日本郵船横浜支店支店長、総務グループ調査役、歴史博物館)

第3回:2014年9月10日(水)「鉄道遺産を生かしたまちづくりと観光」 米山 淳一(公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事)

第4回:2014年9月24日(水)「元町の賑わい」近澤 弘明(株式会社近澤レース店代表取締役社長)

パネルディスカッション「ヨコハマの歴史遺産を生かしたまちづくり」

コーディネーター:鈴木伸治(横浜市立大学教授/公益社団法人横浜歴史資産調査会理事)

<パネリスト>

第5回:2014年10月8日(水)

- · 西 和夫(神奈川大学名誉教授/公益社団法人横浜歴史資産調査会 相談役
- ・米山 淳一(公益社団法人横浜歴史資産調査会 常務理事)
- ・近澤 弘明 (株式会社近澤レース店代表取締役社長)
- 山本 博士 (株式会社三陽物産 代表取締役社長)

横浜大さん橋 横浜市中区海岸通1-1-4 【参加費】

1回2,000円(懇親会費含む)

※5 回受講券 8,000 円

各回80名(要予約)

【定員】

【お申込み】

【会場】

- ・インターネット申込みフォームより URL:www.tvk-coms.co.jp/daisanbashi
- ・FAX より 045-651-1730 (公益社団法人 横浜歴史資産調査会事務局)

⇒氏名・連絡先 (メールアドレスまたは電話番号)・参加希望の回を明記。

※お申し込み締切は FAX の場合は各回前日まで(Web は当日までお申し込み出来ます)

【お問い合わせ】

tvkコミュニケーションズ 045-662-7557 (平日 10:00~16:00)

【主催】

【協力】

横浜港大さん橋国際客船ターミナル(指定管理者 相鉄企業株式会社)

公益社団法人 横浜歴史資産調査会 (ヨコハマヘリテイジ)

【特集】横浜から国内の絹文化を繋げる「シルクロード・ネットワーク」

シルクロードネットワークの設立に向けて

米山 淳一(公益社団法人横浜歴史資産調査会 常務理事)

絹関連遺産では我が国初の世界文化遺産登録に「富岡製 糸場と絹関連遺産群」が平成26年6月、世界遺産委員会 で決まりました。長年の夢が結実したと群馬県内は大いに 盛り上がっています。登録対象は、富岡製糸場(重要文化財・ 史跡・富岡市)を核として荒船風穴(史跡・下仁田町)、田 島弥平旧宅(史跡・伊勢崎市)、高山社跡(史跡・藤岡市) から構成されていることは良く知られています。世界文化 遺産に登録されたことを機会にこれらの遺産が地域振興や 活性化をもたらすと期待されています。

さて、絹産業は群馬県だけに存在するのでしょうか?江 戸後期から明治、大正そして昭和時代と長きにわたって受 け継がれた絹産業は実は全国的におこなわれていました。 今でも各地にその足跡を見ることができます。しかも、絹 産業は大きな富を我が国にもたらしました。近代国家とし ての骨格を整えることができたのも絹産業のお蔭なのです。

そして、絹産業の要となった街は、横浜でした。関東、 甲信越、東北地方で生産された生糸や関連製品は、シルク ロードを経て横浜から輸出されていました。今日、横浜が 発展したのは絹のお蔭なのです。

その恩恵に感謝して絹産業関連市町村や庶民活動等の力 を合せて平成26年度中に当社団(ヨコハマヘリテイジ) では「シルクロード ネットワーク」を設立し絹産業関連 の歴史・文化の育成、保全を介して地域活性化を目指す予 定です。ご関心のある皆様のご参加、ご支援、ご協力を心よりお待ち申し上げ ております。



世界文化遺産 富岡製糸場 (群馬県富岡市)



国指定重要文化財 碓氷峠の第三アーチ橋 (群馬県安中市)



重要伝統的建造物群保存地区 海野宿の町家(長野県東御市)



国指定重要文化財 旧高野家住宅 (山梨県甲州市)

※写真:米山淳一









の魅力

吉田 鋼市 (横浜国立大学名誉教授/公益社団法人横浜歴史資産調査会 副会長)

「キーケン」の名で親しまれてきた横浜生糸検査所の施設群が北仲 の背後に、同形同大の4棟の倉庫(3階建て、地階付)、および倉庫 事務所(3階建て)が整然と並んだ大建築群だった。もちろん震災復 興のシンボル的な存在であり、一大シルクセンターとして日本の貿易、 ひいては日本の経済を支えた。4つの倉庫で28万梱(1梱は9貫目) の生糸が保管できたという。

糸検査所の竣工と同時に設立された帝国蚕糸倉庫株式会社に委ねられ ない。 たから(ただしA号倉庫の一部は生糸検査所の直営)、それで倉庫群 はずっと帝蚕倉庫の建物として知られてきた。

この北仲の地は、場所自体が横浜の歴史上重要なスポットであった。 り、開港以後もフランス・ドイツ・オランダの各公使館もしくは領事なあと慨嘆することしきりである。 館が置かれ、灯台寮、海軍の東海鎮守府、横浜裁判所などの重要な公 共施設が置かれた。この地に生糸検査所が置かれたのもむべなるかな である。

しかし、この大建築群もいまや、横浜市文化財に指定された旧帝蚕 倉庫事務所とC号倉庫が残るのみ。庁舎は昭和28年に横浜農林総合 庁舎となり、平成2年には解体。ほぼ同時期の平成5年に、A号倉庫 も解体。もっとも庁舎の外観は、現在の横浜第2合同庁舎の低層部に 復原されている。残った3棟の倉庫も、平成20年にC号倉庫を除い て解体、いまはC号倉庫が孤影をさらしているというわけである。

その C 号倉庫の規模は、間口 30 間、奥行 13 間 2 尺、建築面積 400 坪、軒高45尺、塔屋を含む総高52尺。鉄筋コンクリート造だが、柱 形の部分に赤煉瓦が張ってある。いや、張ってあるのではなくて、タ イルではないホンモノの煉瓦が積んであり、震災後の鉄筋コンクリー

ト造の建物と明治の煉瓦造の建物をつなぐもやいとなっている。倉庫 の地にできあがったのは大正 15 年。大規模な庁舎(4 階建て、地階付)の庫室が三分割されているのを反映して、柱形も両端が最も太く、庫 室の間仕切りに相当する部分がやや太く、その他は細く、単調ではな いリズムを打っている。柱頭部分には麻をモチーフにしたと思われる レリーフも見られる。内部も興味深く、梁のないフラットスラブを支 える円柱の頭はマッシュルームのように広がっており、しかもその円 柱の太さも高さもマッシュルームの広がりも各階で違っている。また、 設計は横浜ゆかりの遠藤於莵、施工は大林組。倉庫群の運用は、生 荷捌所の庇をつくっている鉄筋コンクリート製のキャノピーも見逃せ

この倉庫の外観は、世界遺産になった木骨煉瓦造の富岡製糸場に似 ていなくもない。むこうは壁が煉瓦で柱が木、こちらは壁がコンクリー トで柱が煉瓦である。「キーケン」がそのまま残っていれば、日本の近 この地はもともと横浜村の鎮守社であった弁天社の社領地の一部であ 代を支えた絹をめぐる物語の世界遺産がより完全かつリアルになった



旧帝蚕倉庫(写真:米山淳一)

【緝】遺産 MAP

【絹】遺産 MAP では、ヨコハマへ リテイジスタイルの特集「シルク ロード・ネットワーク」に合わせ て関東~東北にかけて点在する絹 に関連した歴史的な資産を紹介す 東京都日野市 日蚕糸試験場日野桑園 第一蚕室 横浜線 横浜一八王子 神奈川県横浜市 旧帝奉倉庫

■ 横浜から「絹」を辿る旅

世界に向けて「絹」を積み出してい横浜の港。各地か ら良質な生糸が集まり、大正 12(1923)年の関東大震災 以前は生糸の積み出しを独占した【生糸一港制】とも言 われるように、大きく繁栄した。2014年度のヨコハマへ リテイジスタイルでは、シルクロード・ネットワークの 設立と併せて、この横浜から、「絹」の元ととなった養蚕 の産地、生糸を紡いでいた製糸場、国内の生糸の品質を 高めるのに貢献した蚕糸試験場と「絹」に関連した地域 を順番に辿ってみたい。



旧蚕糸試験場日野桑園 第一蚕室 外観 (仲田の森遺産発見プロジェクト提供)

養蚕・蚕糸業の発展に貢献「旧蚕糸試験場日野桑園と第一蚕室」

東京都日野市、JR 中央線日野駅からほど近い仲田の森蚕糸公園 には、【旧農林省蚕糸試験場日野桑園】として、国内の養蚕・蚕糸 業の発展に大きく寄与した施設が存在していた。

明治以降、殖産興業政策により日本の養蚕・製糸業は飛躍的に発 展したが、粗悪品も多かった。国内の生糸の品質向上のため、明治 44 (1899) 年現在の杉並区高円寺に農林省の「原蚕種製造所」が 開設された。その製造所へ桑の供給のために開設されたのが日野桑 園である。その後数度の名称変更に伴い昭和3(1928)年になると 日野町仲田に分室として栽桑部、育種部が高円寺から移り「蚕糸試 験場日野桑園」となる。

昭和 7(1932) 年から蚕室や庁舎、実験室、寄宿舎など多くの施設 が作られたが、昭和56(1981)年に現在の茨城県つくば市へ移転 に伴い、大半の施設は解体された。現在、公園内には当時の貴重な 遺構である第一蚕室(愛称:桑ハウス)の建物と庁舎の基礎部分が 残されている。

桑ハウスの外観や蚕室の作り方には近代養蚕農家の原型となった 群馬県伊勢崎市の田島弥平旧や埼玉県本庄市の旧競進社模範蚕室の ように気抜き用の越屋根の付いた伝統的な蚕室の形態が見られる。 一方で、一階には当時まだ珍しかった鉄筋コンクリート造を採用し、 内部の装飾や窓などに洋風のデザインが見られるのが特徴。現在こ れら蚕糸試験場日野桑園遺構の保存活用に向け、平成 21 (2009) 年に市民や大学が連携し「仲田の森遺産発見プロジェクト」を立ち 上げ、活動を行っている。

■ 仲田の森遺産発見プロジェクト

URL: https://www.facebook.com/HinoKuwahouse

上村 耕平(仲田の森遺産発見プロジェクト 会員)



一階内部 2010 年度ひのアートフェスティバルで 2 日限定の休憩所用に清掃 (仲田の森遺産発見プロジェクト提供)



二階内部 (仲田の森遺産発見プロジェクト提供)

1980年生まれの私にとって、生糸貿易などで横浜が発展したことは歴史の話 にすぎませんでしたが、数年前に北仲 BRICK(旧帝産倉庫)に通い、ようやく生 い、タイプを打ったりと事務を勤めていたそうです。大正末 糸貿易について知り、また自分の一家の歴史をも知るきっかけとなりました。私 と生糸の関係は薄いものですが、信州出身の祖父の実家でも実は蚕を飼っていた 易の拠点から米軍の拠点の一部になりました。信州の小さな そうで、祖父のふるさについてお話させていただきます。

祖父は信州の佐久の生まれで、祖父が通った寺子屋のような小学校は龍岡城といたことは、私にとって忘れてはならない横浜の歴史です。 いうお城の跡地に残る櫓(御台所)です。この龍岡城はフランス式の軍制や蚕種・ 生糸産業の向上に努めた松平乗謨が慶応3年(1867)年に建てました。砲攻撃に 備えて星形要塞が設計されましたが、幕末の混乱期ゆえに要塞は未完成のまま明 治の廃藩を向かえてしまいます。わずか 20 年足らずで城は解体され、競売につ けられた後にお堀も埋められたそうです。残された櫓のお台所は、しばらく農具 などの倉庫となっていましたが明治8年(1875年)から小学校として使われるよ うになりました。昭和初期に地元の住民がお堀を復元し、今でも星型のお堀のな かに小学校があり、その一部にお台所が残っています。

私の祖父の実家は龍岡城から歩いて20分のところにあり、十年前に祖母と伺っ た時も蔵などの建物が残っていました。私の祖母は戦時中、お産のため本家の二 階へ疎開をしていました。そこはお蚕様の飼育のためのお部屋で、「お蚕様(お こさま)」は「人」よりも上の存在だそうです。お蚕様の季節になると祖母たち は部屋をお蚕様へお譲りして味噌蔵の二階へ移り、お蚕様の季節が終わると再び その部屋へ戻ったそうです。

神奈川県警の外事課で勤めていました祖父は終戦後、無事に横浜へ戻り、公職

中川 ちあき (ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員)

追放をまぬがれて、接収された旧帝蚕倉庫で将校などを手伝 の建設から、築20年ほどしか経過していない帝産倉庫が貿 養蚕農家から出てきた祖父が接収された旧帝産倉庫で通って



龍岡城お台所

ヨコハマヘリテイファンドへのご寄付をお願い致します!

ヨコハマヘリテイジでは、横浜をはじめとした国内の歴史的資産の保存活 用に向けて、皆様のご寄付をお願いしております。各地に眠っている歴史 的資産を地域の宝、日本の宝、世界の宝として、将来に渡り受け継いでい くために、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

ご寄付を頂いた方には、個人の皆さまには、所得税等の控除に使える免 税証明書、法人の皆さまには法人税の控除に使える税額控除証明書を発行 致します。また、金額に応じた記念品を贈呈致します。

【1口~9口】(1,000円~9,000円) 下記を1~9セット

- ・都市の記憶 横浜の主要歴史的建造物第6版
- ・山手の西洋館 外国人居留地の歴史的景観

【10口】(10,000円)下記を1セット

- ・横濱●開港の舞臺-関内街並復元絵圖 (45cm×45cm 長さ:10 メートルの絵巻物) 絶版品 60 限定
- ・都市の記憶 横浜の主要歴史的建造物第6版
- ・山手の西洋館 外国人居留地の歴史的景観



ヨコハマヘリテイジは免税団体です

歴史的資産の保存活用を推進するために、皆様のご寄付をお願いしております。 ご寄付を頂いた方には、免税証明証を発行いたします。確定申告の際に、控除 となります。

【2014年度 賛助会員の皆様】

いつもご支援をありがとうございます



お菓子を通じて横浜の歴史文化を継承します。 株式会社 三陽物産

公益財団法人 はまぎん産業文化振興財団



相鉄企業株式会社

横浜市大倉山記念館

ヨコハマヘリテイジ刊行物のご案内

お求めは下記連絡先の事務局までご一報ください。

- A. 都市の記憶 横浜の主要歴史的建造物第6版 定価:700円(税込)
- B. 都市の記憶 横浜の土木遺産 定価:1,200 円(税込)
- C. 横濱の歴史を生かしたまちづくりの 25 周年 頒布価格: 1,500 円 (関内地区 25 棟の歴史的建造物のカード付き)







【ヨコハマヘリテイジスタイル 2014 夏号】 平成 26 年 7 月 16 日 発行

発行:公益社団法人 横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ) 〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405 号

tel: 045-651-1730 mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp 編集協力: 上村 耕平